

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	13
事業名	空家等対策経費	会計	款	項	目
		一般	8	4	2
施策	1 安全・安心なまち	課名	建設課		
	1-2 住みやすいまちをつくる	係名	都市計画係		
	1-2-1 市街地・居住環境の整備				
主要施策	②良好な住宅地の形成				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内の空家	目的 (対象がどのような状態になっているか)	空家の適正な管理が行われ、また空家利用希望者が利活用できていく状態
事業内容	東員町空家等対策計画に基づき、実態把握(定期的な空家等調査・所有者等への意向調査)、発生抑制・適正管理(所有者等への啓発、適正管理の促し)、利活用(空き家・空き地情報バンク制度の充実)を行う。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度(目標)	
指標	1	空き家・空き地情報バンク制度登録件数	0	5	6	件			
	2								
	3								
	4								
	5								
				令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(予算)			
全体事業費(千円) A+B				1,202	4,186	9,042			
財源内訳	直接事業費 A			14	28	4,884			
	うち一般財源			14	0	2,234			
人件費(千円) B				1,188	4,158	4,158			
内訳	一般職員(人・千円)			0.18	1188	0.63	4158	0.63	4158
	臨時職員(人・千円)				0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	C民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	III 要改善(少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	R3年度に実施する空家実態調査について、効果的に行えるよう内容を精査する。	③取組の課題	所有者自らの責任で適正に管理することが前提となるが、現代社会では問題が複雑化し、所有者だけでは解決することが困難となっている。
②R2年度に実施した取り組み	東員町空家等対策計画に基づき、実態把握、発生抑制・適正管理(所有者等への啓発、適正管理の促し)、利活用(空き家・空き地情報バンク制度の活用)を行う。	④今後の改善計画	町民・地域・NPO、行政が連携し、空家等の対策を進め良好な生活環境維持に努める。